第4章

再生/削除する

基本的な再生のしかた

記録したファイルの基本的な再生方法や、テレビを利用した再生方法について説明します。

カメラで再生できるデータについて

カメラで再生できるデータは、本機で記録したデータです。
その他、デジタルカメラ DC-3/DC-4 シリーズ、RDC-5000 シリーズ、RDC-200G、RDC-7 シリーズ、RDC-i700（リコー製）で記録したデータも再生できます。

●再生できないデータ
再生できないデータは、「UNMATCHED FILE」のメッセージが表示されます。

静止画 / 文字 / 連写ファイルを再生する

（静止画）、（文字）、（連写）で記録したファイルや、音声付きの静止画や文字を再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選びます。
最後に記録したファイルが再生されます。

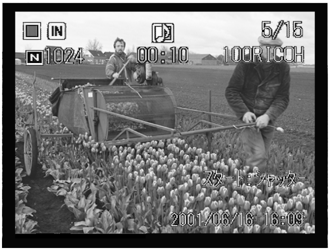
補足 ・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→ P.43「フォルダーを選択する」

❷ ▲・▼ボタンを押して再生するファイルを選びます。
▲は前のファイル、▼は次のファイルを表示します。押し続けると連続して進みます。



●音声付き静止画 / 文字のとき

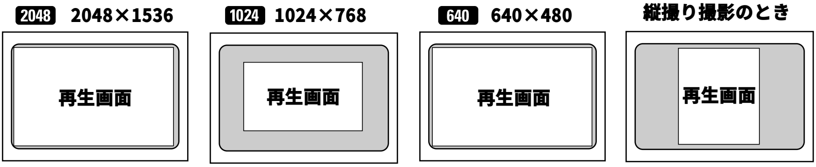
音声を再生するときは、シャッターボタンを押します。
自動で音声ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンを押すと再生を中断できます。再度押すと再開されます。



補足 ・◀・▶ボタンを押すと音量の調節ができます。→P.83「音声ファイルを再生する」

●再生画面について

次の画像サイズで撮影すると、液晶モニターやテレビモニター上での画面表示は以下のようになります。



補足 ・メディアの容量によっては、電源の投入やモードダイヤルを変更してから、ファイルを再生するまでに時間がかかることがあります。
・（連写）で撮影したファイルも、それぞれ1ファイルとして記録されるため、通常のファイルと同じように再生できます。

音声ファイルを再生する

（音声）で記録したファイルを再生します。

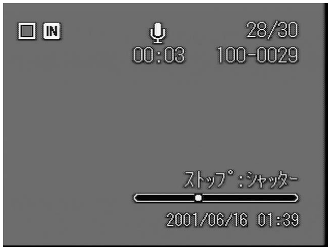
重要 ・スピーカーは本体右側にあります。カメラの向きを調整して再生してください。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選びます。

補足 ・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→ P.43「フォルダーを選択する」

❷ Ⓐ・Ⓥボタンを押して音声ファイルを選び、シャッターボタンを押します。

音声が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。
自動で音声ファイルの再生は終了します。また、Ⓐ・Ⓥボタンを押すと再生を中止できます。



●再生を中断するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が中断され、再度押すと再開されます。
中断中は、ズームレバーを押し続けると早送り（▶▶側）や巻き戻し（◀◀側）ができます。

●音量を調節するとき

再生中、◀・▶ボタンを押すと音量調節インジケーターが表示されます。◀・▶ボタンを押して音量を調節します。



補足 ・録音/録音可能時間が100分を越える場合、液晶モニターや液晶パネルには秒の1桁目は表示されません。

動画ファイルを再生する

🎥（動画）で記録したファイルを再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/INボタンで再生元を選びます。

補足 ・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→P.43「フォルダーを選択する」

❷ Ⓐ・Ⓥボタンを押して動画ファイルを選び、シャッターボタンを押します。



動画が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。
自動で動画ファイルの再生は終了します。また、Ⓐ・Ⓥボタンを押すと再生を中止できます。

●再生を中断、再開するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が一時中断され、再度押すと再開されます。

●コマ送り / 戻し、スロー再生 / 逆スロー再生する

再生の中断中、ズームレバーを▶▶側に押すと1コマ進み、◀◀側に押すと1コマ戻ります。また、ズームレバーを▶▶側に押し続けるとスロー再生、◀◀側に押し続けると逆スロー再生ができます。

補足 ・Ⓛ・Ⓡボタンを押すと音量の調節ができます。→P.83「音声ファイルを再生する」

コラム

画面表示について（再生モード）

DISPLAYボタンを押すたびに、記録した日付や時刻、画質モードなどの情報表示を切り替えることができます。

●静止画/文字/連写ファイルのとき

詳細情報表示　**簡易表示**　**表示なし**



＊音声ファイルや動画ファイルの場合、詳細情報表示や簡易表示時に🎤、🎥、経過時間、インジケーターが表示されます。

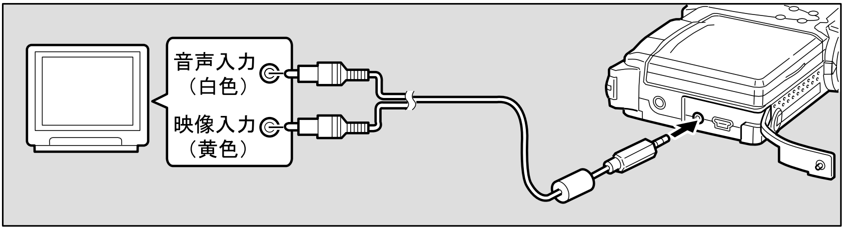
4

再生／削除する

テレビを使って再生する

同梱のAVケーブルをカメラとテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。

参照
・接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。



❶ **カメラ本体とテレビの電源が切れていることを確認します。**

❷ **カメラのAV出力端子にAVケーブルを接続します。**

❸ **AVケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子と音声入力端子にしっかりと接続します。**

長時間お使いになるときは

ACアダプター（別売り）を使って、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。→P.18「ACアダプターを接続する」
＊ACアダプターは、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

補足
・海外旅行などで、PAL方式のテレビで再生することができます。→P.114「ビデオ方式を変更する」
・テレビに接続すると、カメラの液晶モニター表示の状態で、そのままテレビモニターに映ります。
・テレビモニターによっては、表示される範囲が異なることがあります。
・画像サイズによっては、全情報が表示されないことがあります。

いろいろな機能を使って再生する

ここでは、いろいろな再生機能について説明します。

複数ファイルを一度に表示する（サムネイル表示）

９ファイルずつ表示します。見たいファイルをすばやく検索できます。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、ズームレバーを［♠］側に押します。

最後に記録したファイルが再生されます。
サムネイル表示に変わります。



❷ ▲・▼・◀・▶ボタンで再生するファイルを切り替えます。

フォーカスが当たっているファイルは選択ファイルを表します。



❸ ズームレバーを［♠］側に押します。

１枚表示に戻ります。サムネイル表示時の選択ファイルが表示されます。

補足
・再生できないファイルは灰色の画面表示になります。水色の画面表示のときは、🎙は音声ファイル、📄は文字ファイルを表します。
・サムネイル画面上の🎥は動画ファイル、♪は音声付き静止画、📄は音声付き文字を表します。
・選択ファイルが上段のとき、▲ボタンを押すと前の9ファイル、下段のとき▼ボタンを押すと次の９ファイルを表示します。

拡大して表示する（拡大表示）

ファイルを縦横に拡大して表示し、撮影時のブレなどを確認できます。画像サイズによって、次の倍率で表示できます。

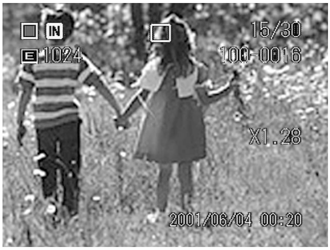
- 2048：1.28 倍、1.6 倍、3.2 倍
- 1024：1.6 倍
- 640：2 倍

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、ズームレバーを[♠]側に押します。

拡大表示に変わります。



❷ ▲・▼・◀・▶ボタンを押して表示領域を移動します。



●倍率を変えるとき

拡大するときは、ズームレバーを[♠]側に押すごとに倍率を変更できます。縮小するときは、[♠]側に押します。

補足

- 拡大表示は、1 枚表示のときに利用できます。サムネイル表示ではできません。
- 拡大表示できるのは、静止画ファイル、文字ファイル、添付ファイル付き静止画 / 文字ファイルです。

ファイルをコピーする（コピー）

メディア間でファイルをコピーします。選択したファイル、またはフォルダー単位にコピーできます。

重要

- コピー先の容量が不足しているときは、「容量不足です。コピーしますか？」とメッセージが表示されます。不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットしてから操作してください。

■ファイルを選択してコピーする



❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷ **コピーするファイルを表示し、FUNCTION ボタンを押します。**
複数ファイルを選択するときは、手順❷を繰り返します。

●サムネイル表示のとき
コピーするファイルにフォーカスを当て、FUNCTION ボタンを押します。複数ファイルを選択できます。

❸ **MENU ボタンを押します。**

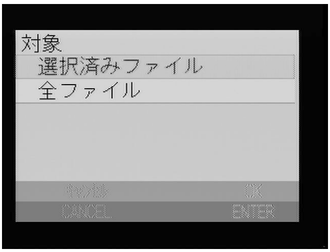
❹ **[コピー］を選び、▶ボタンを押します。**



❺ **[対象］を選び、▶ボタンを押します。**



❻ **[選択済みファイル］を選び、ENTER ボタンを押します**



❼［コピー先フォルダ］を選び、▶ボタンを押します。



❽コピー先のフォルダーを選び、ENTERボタンを押します。



❾ENTERボタンを押します。

コピーが開始され、終了後、再生メニューに戻ります。

❿CANCELボタンを押してメニュー画面を終了します。



補足 ・ファイルを選択していない場合、１枚表示のときは現在表示しているファイル、サムネイル表示のときは選択ファイルがコピーの対象になります。

■フォルダー単位にコピーする

❶モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。

❷［コピー］を選び、▶ボタンを押します。

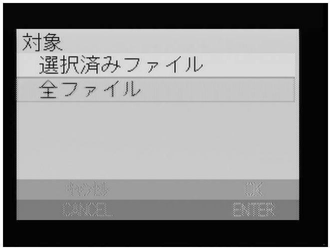


❸ **［対象］を選び、▶ボタンを押します。**



❹ **［全ファイル］を選び、ENTER ボタンを押します**

現在表示されているフォルダー内のすべてのファイルがコピーの対象になります。



❺ **［コピー先フォルダ］を選び、▶ボタンを押します。**



❻ **コピー先のフォルダーを選び、ENTERボタンを押します。**



❼ **ENTER ボタンを押します。**

コピーが開始され、終了後、再生メニューに戻ります。

❽ **CANCEL ボタンを押してメニュー画面を終了します。**



補足 ・同一メディア内でフォルダー単位のコピーはできません。

プロテクトを設定する（プロテクト設定）

大切なファイルを誤って削除してしまわないよう、プロテクト（誤消去防止）を設定できます。

重要

・メディアをフォーマットすると、プロテクトされているファイルも削除されます。

■ファイルを選択してプロテクトする

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷ **プロテクトするファイルを選びます。**

●１ファイルずつプロテクトするとき

▲・▼ボタンでプロテクトするファイルを表示します。



●複数ファイルをプロテクトするとき

▲・▼ボタンでプロテクトするファイルを表示し、FUNCTION ボタンを押します。

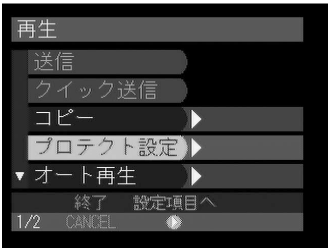
サムネイル表示のときは、プロテクトするファイルにフォーカスを当て、FUNCTION ボタンを押します。

操作を繰り返して複数ファイルを選びます。

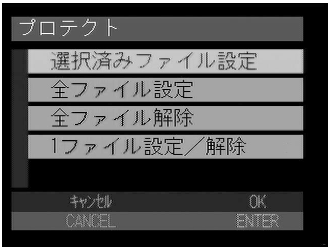


❸ **MENU ボタンを押します。**

❹ **［プロテクト設定］を選び、▶ボタンを押します。**



❺ **指定方法（選択済みファイル設定・1ファイル設定/解除）を選び、ENTERボタンを押します。**

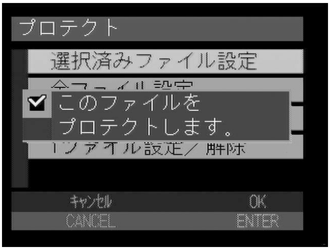


●［選択済みファイル設定］のとき

選択したファイルにプロテクトが設定され、再生画面に戻ります。プロテクトされたファイルには、が表示されます。

●［1ファイル設定/解除］のとき

確認の画面でENTERボタンを押します。プロテクトが設定され、再生画面に戻ります。プロテクトされたファイルには、が表示されます。

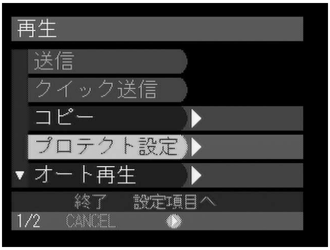


補足 ・プロテクトが設定されている場合、解除するかどうかメッセージが表示されます。ENTERボタンを押すと、プロテクトが解除されます。

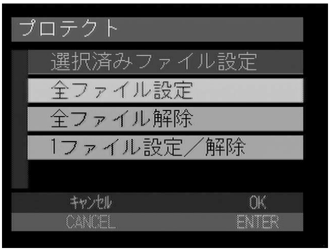
■全てのファイルをプロテクトする

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **［プロテクト設定］を選び、▶ボタンを押します。**



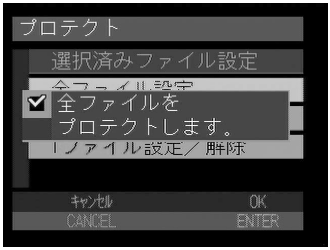
❸ **［全ファイル設定］を選び、ENTERボタンを押します。**



❹ **ENTERボタンを押します。**

現在表示されているフォルダー内のすべてのファイルにプロテクトが設定され、再生画面に戻ります。

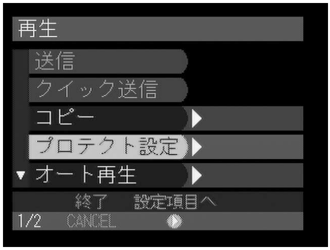
プロテクトされたファイルには、が表示されます。



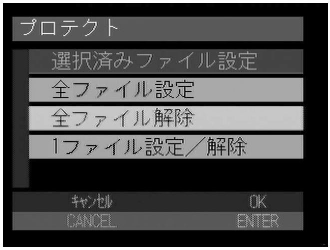
■プロテクトを解除する

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **［プロテクト設定］を選び、▶ボタンを押します。**



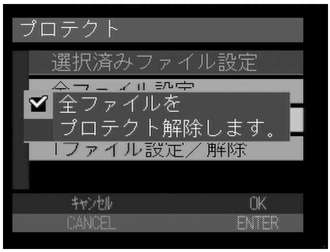
❸ **指定方法（全ファイル解除・1ファイル設定/解除）を選び、ENTERボタンを押します。**



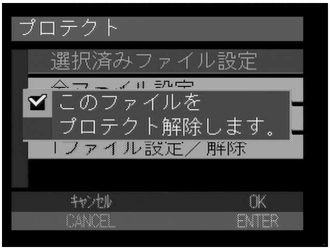
● **［全ファイル解除］のとき**

確認の画面でENTERボタンを押します。

すべてのプロテクトが解除され、再生画面に戻ります。



●［１ファイル設定 / 解除］のとき
確認の画面で ENTER ボタンを押します。
表示しているファイルのプロテクトが解除され、再生画面に戻ります。

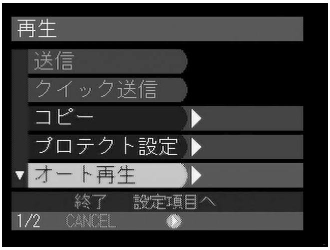


自動で再生する（オート再生）

メディア内のすべてのファイルを自動で再生します。

❶ モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷［オート再生］を選び、▶ボタンを押します。



❸［再生間隔］を選び、▶ボタンを押します。



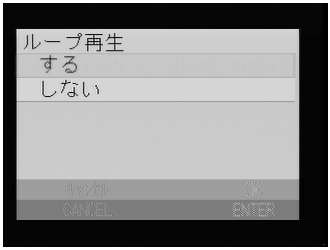
❹ 再生間隔を設定し、ENTERボタンを押します。
１ファイルの再生時間を、１秒、３秒、５秒、10 秒、30 秒、60 秒で指定します。
オート再生メニューに戻ります。



参照 ・P.29「⊖(スピンボックス）の使い方」

4
再生／削除する

❺ **[ループ再生］を選び、▶ボタンを押します。**



❻ **ループ再生（する・しない）を選び、ENTER ボタンを押します。**

繰り返し再生するかどうかを指定します。
オート再生メニューに戻ります。

❼ **ENTER ボタンを押します。**

❽ **ENTER ボタンを押します。**

指定した時間でオート再生が開始されます。CANCEL ボタンを押すと、オート再生を終了します。



●オート再生を中断、再開するとき

シャッターボタンを押すと、オート再生が一時停止され、再度押すと再開されます。

●ファイルの送り / 戻しをするとき

オート再生の中断中、▼ボタンを押すと１ファイル進み、▲ボタンを押すと１ファイル戻ります。

補足
- 再生時間には、ファイルを呼び出している時間は含まれません。
- 音声付き静止画 / 文字ファイル、動画ファイル、音声ファイルは、設定した再生時間にかかわらず、記録した録音時間や 録画時間で再生されます。

プリントサービスの設定をする（DPOF 設定）

カード内のファイルをデジタルプリントサービスでプリントする際、プリント枚数やインデックス枚数の情報設定を行います。これをDPOF（ディーポフ）設定と呼びます。設定後、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、指定した情報通りのプリントサービスが受けられます。
＊DPOFとは、Digital Print Order Formatの略です。

補足
- プリントサービスの設定を行うには、メディアにファイル１〜２枚分の空き容量を残してください。
- プリントサービス設定後は、記録や削除などの設定を一切行わないでください。行った場合は再度設定し直してください。

■ファイルを選択してプリント枚数を指定する

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷ **プリント枚数を指定するファイルを選びます。**

●1コマずつ指定するとき

Ⓐ・Ⓥボタンで指定するファイルを表示します。



●複数ファイルを指定するとき

Ⓐ・Ⓥボタンで指定するファイルを表示し、FUNCTION ボタンを押します。
サムネイル表示のときは、指定するファイルにフォーカスを当て、FUNCTION ボタンを押します。
操作を繰り返して複数ファイルを選びます。

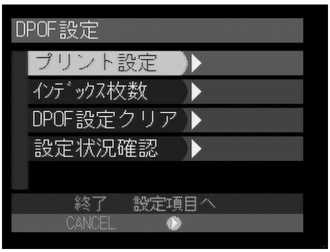


❸ **MENU ボタンを押します。**

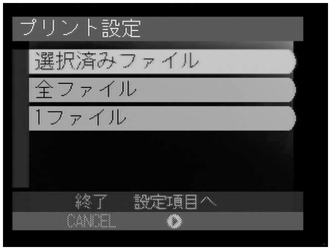
❹ **［DPOF 設定］を選び、▶ボタンを押します。**



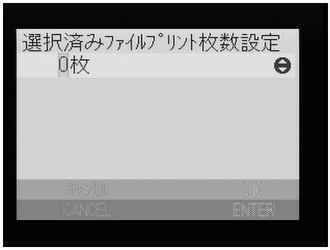
❺ **［プリント設定］を選び、▶ボタンを押します。**



❻ 指定方法（選択済みファイル・1ファイル）を選び、▶ボタンを押します。



❼ ▲・▼ボタンでプリント枚数を指定し、ENTERボタンを押します。



❽ CANCELボタンを押してプリント設定メニューを終了します。

何度かCANCELボタンを押して、メニュー画面を終了します。

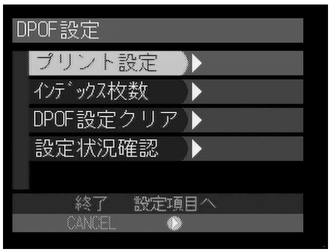
■全ファイルを指定する

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。

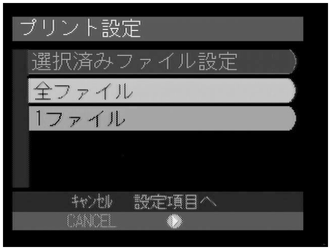
❷［DPOF設定］を選び、▶ボタンを押します。



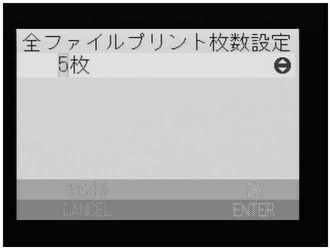
❸［プリント設定］を選び、▶ボタンを押します。



❹ [全ファイル] を選び、▶ボタンを押します。



❺ ▲・▼ ボタンでプリント枚数を指定し、ENTER ボタンを押します。



❻ CANCEL ボタンを押してプリント設定メニューを終了します。

何度か CANCEL ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

■インデックス枚数を指定する

フォルダー内のすべてのファイルを縮小してプリント指示できます。インデックスプリントといい、フォルダー内のファイルを一覧で確認したり、プリント枚数を指定するときの目次として利用できます。

❶ モードダイヤルを [▶] に合わせ、MENU ボタンを押します。

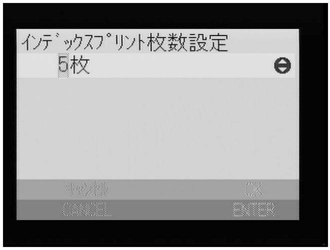
❷ [DPOF設定] を選び、▶ボタンを押します。



❸ [インデックス枚数] を選び、▶ボタンを押します。



❹ ▲・▼ボタンでインデックス枚数を指定し、ENTER ボタンを押します。



❺ CANCEL ボタンを押して DPOF 設定メニューを終了します。

■ DPOF 設定を解除する

プリント枚数やインデックス枚数など、DPOF 設定をすべて取り消します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷［DPOF設定］を選び、▶ボタンを押します。

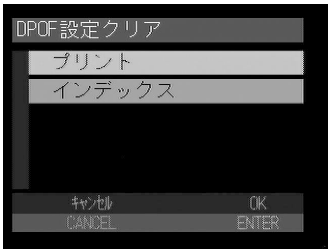


❸［DPOF設定クリア］を選び、▶ボタンを押します。



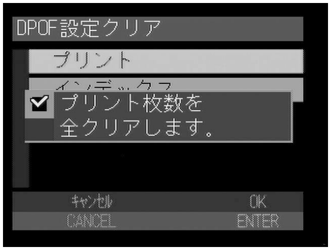
❹［プリント］または［インデックス］を選び、ENTER ボタンを押します。

確認の画面が表示されます。



❺ ENTERボタンを押します。

プリント枚数またはインデックス枚数がすべて取り消され、DPOF設定メニューに戻ります。



❻ CANCELボタンを押してDPOF設定メニューを終了します。

■設定状況を確認する

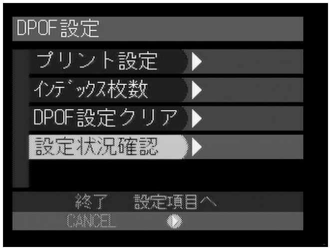
プリント枚数やインデックス枚数など、設定状況を確認します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。

❷［DPOF設定］を選び、▶ボタンを押します。



❸［設定状況確認］を選び、▶ボタンを押します。



❹ 確認後、ENTERボタンを押します。

DPOF設定メニューに戻ります。

❺ CANCELボタンを押してDPOF設定メニューを終了します。



ファイルに音声メモを加える（アフレコ）

静止画ファイルまたは文字ファイルに、音声を約 10 秒間追加できます。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせます。

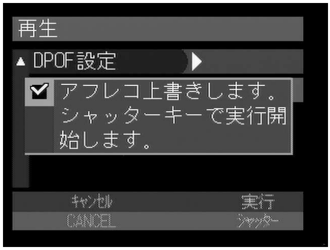
❷ 音声メモを追加したいファイルを表示して MENU ボタンを押します。

❸ [アフレコ] を選び、▶ボタンを押します。



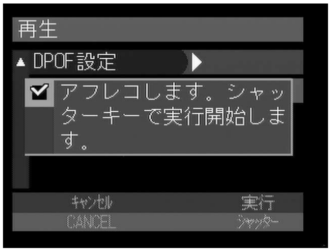
●すでに録音されているとき

選択したファイルに、すでにアフレコが録音されている場合、メッセージが表示されます。上書きしてよければシャッターボタンを押し、アフレコを録音してください。
録音を取り消すときは、CANCEL ボタンを押します。



❹ シャッターボタンを押します。

録音が開始され、液晶モニターの 🎤 が点滅します。録音が終了すると、再生画面に戻ります。



補足 ・録音中、再度シャッターボタンを押すと記録を終了します。

ファイルを削除する

記録したファイルを削除します。選択したファイル、またはフォルダー内の全てのファイルを削除できます。

重要
・削除したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから削除してください。

補足
・メディアの容量やファイルの種類によっては、削除に時間がかかることがあります。
・プロテクトが設定されたファイルは削除できません。設定を解除してから削除してください。→P.92「プロテクトを設定する（プロテクト設定）」
・フォルダー単位に削除することもできます。→ P.106「フォルダーを追加 / 削除する」

ファイルを選択して削除する

選択したファイルを削除します。

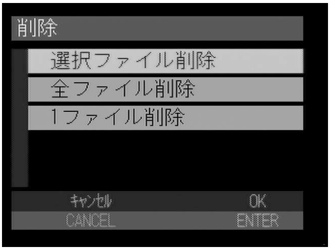
❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷ **削除するファイルを選びます。**
Ⓐ・Ⓥボタンで削除するファイルを表示し、FUNCTION ボタンを押します。
サムネイル表示のときは、削除するファイルにフォーカスを当て、FUNCTION ボタンを押します。
操作を繰り返すと、複数ファイルも選択できます。



❸ **🗑ボタンを押します。**

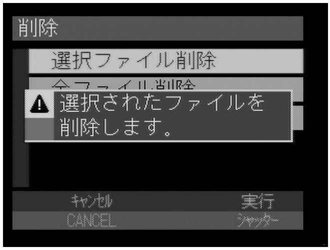
❹ **［選択ファイル削除］を選び、ENTER ボタンを押します。**



4
再生／削除する

❺ シャッターボタンを押します。

ファイルが削除され、再生画面に戻ります。



補足 ・ファイルを削除すると、以降のファイル番号が繰り上がります。

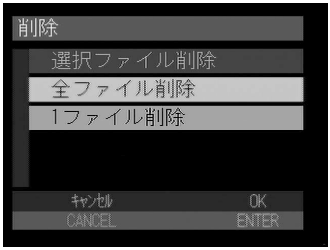
全ファイル /1 ファイルを削除する

フォルダー内の全てのファイル、または1ファイルずつを削除します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、🗑ボタンを押します。

❷ 削除方法（全ファイル削除・1ファイル削除）を選び、ENTERボタンを押します。

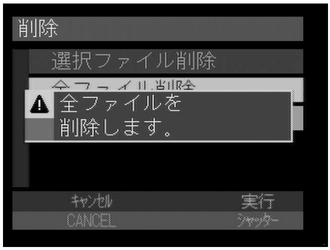
確認の画面が表示されます。



❸ シャッターボタンを押します。

●［全ファイル削除］のとき

フォルダー内のすべてのファイルが削除されます。



●［1ファイル削除］のとき

ファイルが削除され、再生画面に戻ります。

